

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	57 59 67	センター方式の活用により「課題抽出～改善」の流れは確立しつつあるが、よりご本人やご家族のニーズに則したケアの実現のため、課題抽出に至る過程において、スタッフの理解力と考察力のレベルアップが必要。	センター方式のメリットを最大限に活かし、ご入居者やご家族のニーズに則した介護計画が作成できる。	1.ご入居者担当者が抽出したニーズの介護計画への反映を強化することで、各担当者が責任を感じられる流れをつくる。 2. ニーズ抽出のスキルマップを作成し、スタッフに対し4回/年スキルマップに基づき個別フォローを行う。 3ご家族との話し合いの場を設定し、その内容をスタッフ間で共有することで、ご家族ニーズの介護計画への反映につなげる。	12ヶ月
2	49	年間計画に基づく定期的な外出レクに加え、フロア単位の不定期の外出レク(外食等)を取り入れた事で外出頻度は確実に増しているが、ご入居者の個別ニーズに応えた外出が、まだ不十分な状況。	現在行っている外出レクを継続しつつ、ご入居者の個別ニーズに応えた外出を、ご家族協力の下、1回/年以上実施する。	1.年間計画に基づく定期的な外出レクとフロア単位の不定期の外出レクを継続する。 2.日常的な外出として、買い物・散歩を状況に応じて個別に対応する。 3ご入居者のニーズに基づく、日頃出かける事が困難な場所への外出は、ご家族の協力を前提に、誕生日のお祝いを兼ね実施する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月
6					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。